

こどもの人権と医療を考える市民公開講演シンポジウム

こどもと青少年の代弁者：アル・エインスリー-グリーン卿を迎えて

英国の著名な小児科医 Sir Albert Aynsley-Green 教授（2005年、英国のあらゆる政策におけるこどもと青少年の代弁者である Children's Commissioner for England の初代として就任）をお招きして、こどもの人権と医療についてのお考えを伺います。同時にいろんな立場でご活躍の方々のお考えを聞く機会として企画しています。

- こどもの虐待問題に取組み、英国の事情にも明るい札幌学院大学人文学部松本伊智朗教授のお話を伺います。
- さらに国内の主要な関係者（弁護士、ユニセフ、開発途上国のこども、病院の看護・医療）それぞれの分野の第一人者にコメントをいただき、活発で建設的な議論を創造したいと考えています。
- 2007年に天皇、皇后両陛下は、不治の病を患った子どものための世界初のホスピス「ヘレン・ダグラス・ハウス」（オックスフォード）を訪問されました。このシンポジウムの結果を携えて、Sir Albert Aynsley-Green 教授は4月24日、皇后陛下に拝謁されます。

こどもの人権と医療を考える市民公開講演シンポジウム

「家庭、社会、学校、園、施設・そして病院におけるこどもの人権」と「ケア・支援のあり方」

2008年4月23日（水）14時30分～17時 於：東京国際フォーラム ホールB5 入場無料

講演（通訳あり）

1. 松本伊智朗（札幌学院大学人文学部人間科学科）
2. Professor Sir Albert Aynsley-Green（Children's Commissioner for England）

11 MILLION reasons to take seriously the health and wellbeing of children and young people

コメンテーター：

増子孝徳（日本弁護士連合会人権擁護委員会委員）

平林国彦（国連児童基金（ユニセフ）東京事務所）

勝間靖（早稲田大学・大学院アジア太平洋研究科/グローバル・ヘルス研究所）

山崎不二子（日本小児総合医療施設協議会、大阪府立母子保健総合医療センター）

奥山真紀子（日本小児科学会、国立成育医療センター）

ファシリテーター：藤井あけみ（千葉県こども病院・Child Life Specialist）

座長：藤村正哲（日本小児科学会、大阪府立母子保健総合医療センター）

主催：日本小児科学会

PROFESSOR SIR ALBERT AYNSLEY-GREEN

オックスフォード大学小児科講師、ニューキャッスル大学小児科教授・医学部長を経て、英国最大の小児病院であるグレート・オーモンド・ストリート病院の診療部門長を務められた。英国全体の小児医療統括者として英国母子医療10年戦略（National Service Framework for Children, Young People and Maternity Services）を策定され、教育省の子供家庭部門など多くの英国の子供たちの権利を守るための職位に就かれたあと、新たに創設された「Children's Commissioner for England」に就かれ、英国のこどもたちの権利を積極的に守り、統率していく活動を進められている。英国では新たに省庁再編が行われ「子供学校家庭省」が創設され、政府として総合的に子供と家族を守り支援している。エリザベス女王生誕80年の際に、こどもの権利をめぐる現在までの働きを評価され、ナイトの称号を受けられた。

Professor Sir Albert Aynsley-Green

Professor Sir Albert Aynsley-Green is the first ever Children's Commissioner for England and leads 11 MILLION. He was appointed full time in July 2005 to be the independent voice for all children and young people and represent their views, opinions, interests and rights to the people who make decisions that affect them. Before becoming the Children's Commissioner, Al was a children's doctor for 30 years. Al has six grandchildren, and very much enjoys spending time with them at the weekends. (<https://www.childrenscommissioner.org/adult/index.cfm>)

松本伊智朗

札幌学院大学人文学部教授。専門は社会福祉論、児童福祉論。主な研究テーマは、子どもの貧困と社会的排除に関する研究、要養護児童の社会的自立に関する研究、子ども虐待問題の日英比較研究など。「北海道子どもの虐待防止協会」事務局長を務める。1997年イギリスの社会福祉政策、子ども保護問題をテーマに、ロンドン大学政治経済学院社会行政学部（LSE）において在外研究。主な著書、訳書に「子ども保護のためのワーキング・トゥギャザー 児童虐待対応のイギリス政府ガイドライン」2002、「子ども虐待—介入と支援のはざままで」2007、「子どもの貧困—子ども時代の『しあわせ平等』のために」2008など。

問い合わせ

日本小児科学会 〒112-0004 東京都文京区後楽1丁目1番5号 第一馬上ビル4階
(電話) 03-3818-0091 (FAX) 03-3816-6036